

山内で元気に生き抜くために 自分事として考えよう

山内見守り新聞

山内自治振興会
地域福祉部
高齢者見守り班

2015年8月31日発行

地域福祉見守り研修会開催 住民みなんで参加する地域福祉活動

平成二十六年から始まった高齢者見守り支援事業。今年度は、区民自身が「我が区の課題」に向き合い、何ができるかの意識啓発を進めます。今年度は、大谷大学 山下憲昭教授をお呼びしての「見守り概論」のお話と山内で、すでに取り組まれている地域福祉活動や防災の取り組みについて勉強しました。振興会役員、民生委員・児童委員、福祉推進員、区長、一般の方々も参加し、勉強しました。

平成二十七年七月十八日の研修会は、場所を山内公民館二階で、約50名が集まりました。前半は、

た課題の報告、社協職員 樹神(こだま)さんより山内で行っている各区毎の高齢者サロンの取り組み紹介、山内区の本間区



山下先生より「楽しく、気さくに」と総括。

協の支援があっても、主体となるのは住民であることを強調されました。見守りの基本である支え合いには、日頃から住民同士が互いに理解し合う、認め合う心から成り立つ「励まし」とアドバイス。人の役にたつことの実感や社会的な健康につながります。山内の見守り事業も、事業自体が、「参加者の居場所づくり」「実践者の出番づくり」であるので、住民参加で楽しく、あせらず、交流しながら継続性のあるものにしてほしいとエールをいただきました。

山中すずか自主防災組織の立ち上げ

「地域自主防災と地域見守りは一体のものである」ことをコンセプトにした山中区での防災組織立ち上げの取り組みを本間区長からご紹介いただきました。★立ち上げのきっかけは？ きっかけは、平成二十六年の台風8号による山内学区の「避難勧告」発令でした。山中区は七つの組で構成されていますが、地形的に長い集落で情報の収集や連絡が難しい課題を実感したことからです。★山中区防災組織のコンセプト 要援護者の安否確認、避難誘導に対応できる組織づくり。昼間に一人になられる高齢者に近所支援(〇〇さんには△△さんが対応)と協力体制をとります。★組織作りの工夫 4班体制で配置しています。元消防団分団長を防災士としてリーダーにします。消防団員は甲賀市の災害活動に組み込まれるため、自主防災の班員とはせず、地域の各種団体の方、女性にも班員として活動してもらおうとします。

地域デビューのススメ五箇条

- ① 日本レクリエーション協会より「身分肩書き一切詮索(せんさく)すべからず
- ② 過去の偉業を誇らしげに披露すべからず
- ③ 隣近所の話題は持ち出すべからず
- ④ へりくだったり卑屈になつたりすべからず
- ⑤ 特技・趣味の情報は積極的にアピールし 今後の活動に活かすべし

ただし、地域の者が、それぞれの個性や魅力を認め合い、居場所を創っていく気持ちがあるかどうかにかかっていますね。

山内高齢者サロン

地域福祉活動センターから報告

★なぜサロンが必要なのか？

周囲の人との関係の希薄化。気軽に相談できる人が近くにいないことで課題を抱え込んでしまつたり、高齢者を狙った詐欺の被害に遭いやすくなつて

ています。今はつながりがあったとしても五年後十年後はそのつながりは残っているだろうか。という疑問と不安から地域

で顔を見ながら声かけ元気を確認できる場所が必要で

★山内学区のサロンの様子 区ごとに実施されています。スタッフは、概ね福祉推進員、民生委員が主体となつて、回数や区の実情により異なり、年三回〜毎月

★悩み…福祉推進員が毎月の内容を考えなければならぬのでそれが大変です。★工夫点として、市場区の前福祉推進員馬場ツタエさんからは、「ゆうゆうクラブと合同することで、男性も参加し

てもらえようとしていること、や笹路区の民生児童委員 谷川重喜さんからは、年度当初の計画の段階で区長に入っているたき、区の公認事業というかたちになっている」との報告がありました。要は、民生委員や福祉協力員だけではないのでなく、他にもお手伝いしてくれるボランティアさんの存在や、高齢者の方に喜んでいただけることを楽しみとする地域のサポート体制があることがボランティア側も楽しめる要素のようでした。

山内の高齢者が元気で支え合って生きぬく 自分に何ができるでしょうか (研修後アンケートより抜粋)

- ・動ける(できる)高齢者がそうでない方を少し助ける。そうゆうつもりでいたい。
- ・地域でのつながりを多く持つ、横のつながり 縦のつながり、連帯
- ・近所の高齢者への気遣い
- ・病院等の送り迎えなど自分ができるとは助けてほしい
- ・昼間は高齢者ばかりだから、防災のことを考えていく
- ・話ができる場所作り
- ・話し合い助け合える雰囲気づくり
- ・まずは自分の健康づくり
- ・サロンのスタッフとして頑張る
- ・サロンのお手伝い
- ・そっと見守る
- ・一声かけること
- ・見守り訪問



★事業の工夫点 毎年区の出初行事を行い、消防機材、防火水槽、消火栓の点検を実施してきました。ここ数年は、避難訓練に併せて餅つきも行って、楽しく多くの区民に参加いただくよう考えています。